



Face any challenge, anywhere.

# Wilderness Medical Associates JAPAN

## 野外災害救急法

### ハイブリッド WFR コース

#### 1. 概要

新型コロナウイルス影響下においても WMA 野外災害救急法カリキュラムを学習し、特徴である「手に残る技術」として定着することができるためのコース。オンラインでの自己学習と集合形式の実技セッションの組み合わせにより、じっくりと時間をかけて WFA の復習をします。WFA 内容をさらに深く理解し、応用するだけでなく、新しい項目も学びます。クリティカルシンキングを多用する救助現場の医療リーダーとしてのトレーニングを繰り返します。

#### 2. 学習時間 ; 2 週間 (14 日間 : 36 時間) で完結します。

- Step1 (Day1-Day11) : オンライン-自己学習 (WFA の復習 14 時間程度。進め方は任意)
- Step3/Day12~14 : 実技セッション (合計 22 時間)
  - ◇ Day 1 (7 時間) 10:00~12:00 / 13:00~17:00
  - ◇ Day 2 (8 時間) 9:00~12:00 / 13:00~17:00
  - ◇ Day 3 (7 時間) 9:00~12:00 / 13:00~16:00
  - ※ 自己学習で学んだ WFA 内容の復習に次いで、以下の項目を実技を通じて学びます ;
    - ✓ 既存項目の WFR レベルへの引き上げ
    - ✓ 新規項目 : 重度喘息・高山病・凍傷・脱臼・雪崩・グルーブレクキュー・メディカルスクリーニング、リーダーシップ等
  - ※ 実技セッション内にて資格認定テストを実施します。(実技+筆記 25 問)

#### 3. オンライン-自己学習 (WFA の復習) の手順

- インターネット環境が必要です (スマートフォンの場合は WiFi 環境を推奨)。
- 開始日前日までに教材並びに指定 ID & パスワードが送られてきます。
- ご自身のペースで、オンライン学習システム「学び〜と」でレクチャーの受講 (スライド/ビデオ)。
  - ※ 19 単元、約 14 時間ありますので計画的に進めることをお勧めします。
- 各単元に知識の確認のための小テストが用意されています。要点をそこで確認しましょう。

#### 4. 実技セッションについて

集合時間、お持ちもの等は各コースのページにてご案内しております。その他、雨具、防寒具、ハットやサングラス等、天候に合わせた服装でお越しください。実技では引きずられたりすることで、衣服にダメージが生じることがありますので汚れても良い服装、濡れない服装、寒くならない服装を心がけてください。

#### 5. 資格認定

資格を取得するにあたっては、オンライン-自己学習、実技セッション、これら全ての 100% 受講、および最

終試験（筆記・実技）にて 80%以上のパフォーマンスが必要です。コースに該当する「ウィルダネス状況下医療プロトコル」の運用を含む知識技術の証明（Certificate）を WMA International より発行いたします。世界 31 ヶ国共通の国際資格です。

## 6. 受講要件

- 受講開始日に 16 歳以上である。（開始日に未成年の方については親権者の同意書が必要です）
- インターネット環境を用意できる
- 全てのスケジュールに参加できる（特にオンライン自己学習、実技セッションは時間の制約があります）
- 下記「新型コロナウイルス影響下における参加者基準」をパスしている

## 7. 新型コロナウイルス影響下における参加者基準

実技セッション参加にあたっては、に該当している場合、感染拡大防止の観点から、以下に該当する場合には実技セッションへの参加をお断りしています。

1. 現在 COVID-19 に感染している、または行政機関に自宅待機するように言われている。
2. 直近の 1 週間の間に COVID-19 感染者もしくは疑いのある者との接触があった。
3. 以下のような症状が治まってからまだ 10 日以上が経過していない、または現在以下の症状がある；
  - 37.5℃以上の発熱
  - 呼吸器の重い症状；
    - ◇ 咳
    - ◇ 喉のひどい痛み
    - ◇ 息切れ
  - インフルエンザのような症状；
    - ◇ 継続する頭痛
    - ◇ 倦怠感
    - ◇ 筋肉の痛み
    - ◇ 吐き気、嘔吐、下痢
  - 味覚や嗅覚の消失

## 8. その他新型コロナウイルス感染拡大予防の取り組み

講習会では新型コロナウイルス感染予防に次の取り組みを実施しています。

- 最小人数のインストラクター派遣によるクラスター予防
- 前日および当日のスクリーニングによる有症者のチェックと参加お断り
- 共有部のこまめな消毒や手洗いができる環境の設定
- 実技セッション中は常時マスクを着用。特にシミュレーションのように接触や接近が含まれる際はより飛沫防止率の良い不織布マスクを着用。
- 実技セッションにおける通い参加の推奨。宿泊を要する際は原則個室対応。

- 食事についてはお弁当を推奨。（持参・仕出しともに）

## 9. よくある質問とその回答

教材はいつ手元に届きますか？

- ✓ 教材一式はオンライン自己学習の開始日（コース開始日）前日までに宅急便にてお手元にお届けします。開封しサイトにログインした時点で受講開始として認識いたします。

オンライン自己学習の途中でコースをキャンセルしなければなりません。その時の対応はどうなりますか？

- ✓ オンライン自己学習を開始した当日より「コース受講開始」となりますので、100%のキャンセル料がかかります。なお、次回別のハイブリッドコースに参加される際、教材に変更がなければ教材費代を引いた金額で参加が可能です。その際、講習は最初からやり直しになります。

受講過程で開催地に緊急事態宣言が出て、実技セッションに参加できなくなりました。その際はどうなるのでしょうか。

- ✓ 100%のキャンセル料が発生します。ただし、この件は不可抗力によるものですので、半年以内に別のハイブリッドコースにお申し込みいただいた際は参加費無料で受講ができます。ただし、その際は講習は最初からやり直しになります。

オンライン自己学習のみ、または実技セッションのみが参加できません。振り替えなどは効きますか？

- ✓ 残念ですが振り替えは効きません。